



■ 1号機の隣接南側にマンション計画 ■

発電量減少の危機！！

メゾン・ドゥ・ボナールの屋上をお借りし設置した発電所1号機の真南に積水ハウスが5階建てのマンションを計画しています。

現在はJFE所有の同じ5階建て社宅になっていますが、計画建物は1号機に近づいて計画されセットバック（3，4，5階と段状に計画）にはなっているものの影響は避けられません。

計画建物概要（B敷地）

南側2筆の土地に道路を挟んで各1棟が計画されていますが北側B敷地が隣接地です。

敷地面積： 5,546㎡

建築面積： 3,809㎡

延べ面積： 14,962㎡

階数： 地上5階建て

建物高さ： 14.99m

計画戸数： 144戸

計画全体では敷地面積11,394㎡、8階建て、308戸の大規模マンションです。



既存の5階建て社宅（写真の左上）のところが、計画建物のB敷地になる。

アセス条例に基づく意見書

川崎市環境影響評価に関する条例第19条に基づき、（仮称）中原区井田中ノ町共同住宅に係る条例環境影響評価準備書の説明会が2015年7月31日（第1回）と8月1日（第2回）に行われ、第2回に出席しました。

説明者：指定開発行為者（事業主）積水ハウス株式会社ですが、当日はすべて施工業者である長谷工コーポレーションが進行、説明を行いました。

施工期間：2015年11月～2017年11月（解体工事を含む）となります。

条例準備書に対する意見書の提出が8月31日とされており、①工事中の塵埃対策、②風害の影響、③太陽光発電設備への日影の影響について皆様にも協力いただき提出いたしました。



要望書

並行して施工会社の株式会社長谷工コーポレーション宛てに地権者：田邊勝義さんと特定非営利活動法人原発ゼロ市民共同発電所 理事長川岸卓哉の連名で計画に対する詳細資料提出、質疑等を記載した「要望書」を送付いたしました。

9月9日付けで回答書をいただきましたが、騒音計・振動計の設置以外本計画による影響はほとんど生じないという回答でした。

要望した屋上階冬至の時刻日影図と等時間日影図はいただきましたが、この結果はおおよそ朝夕各30分の日影が一部にかかるというものでした。

陳情書

開催中の市議会が10月14日に閉会になるため、提出期限となる10月9日に議事課に陳情書を提出しました。

建築基準法上は8:00~16:00の日影を表示すればよく、これは生活する上での受忍限度を対象にしており今回は争点になりづらく、太陽光発電の場合は法的な主張をするのであれば、端的に、当法人の財産権が侵害されることと、その侵害により被る損害は不可避であって侵害の程度が強いといえることをおしていきのがいいとの岩坂弁護士の意見もいただき、直前に文章を書き換え、陳情項目に日影をなくすことと、太陽光発電施設への日影規制条例化を要望するものとしたしました。

川崎市議会のホームページに環境委員会で審査されると発表されました。

環境委員会所属の議員による現地視察ののち、委員会開催日の1週間前に審査日が決定し理事長あて連絡が来る予定です。

それまでに委員会所属議員に内容説明し、議会で採択されるよう働きかけたいと思います。採択されれば日本で初めての快挙になります。

被害の実態を知る終日日影図の作成と被害額の算出が終わり、今後記者発表、議員に対する働きかけを行い、委員会開催時には多数の傍聴参加が必要です。

この明るい笑顔が続けられるよう皆様のご協力をお願いいたします。

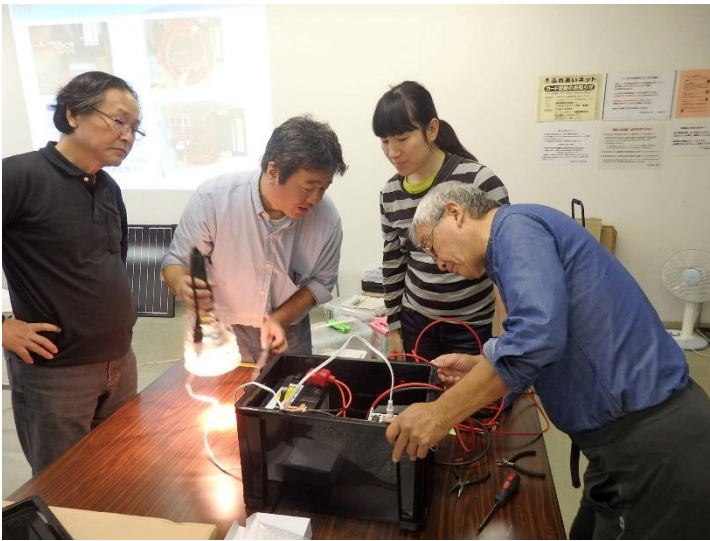
事業検討チーム 永田 真一



希望に満ちた1号機完成記念写真
撮影日：2015年2月1日「通電式」



■ 出前発電所を作ろう ■



10月17日、多摩市民館で当NPO法人主催の「出前発電所を作ろう！ワークショップ」を開催しました。私は太陽光発電キットを初めて組み立てました。電気の基本のおさらいから始まり、丁寧な古峰講師の説明と周到的な準備で、スムーズに出来ました。運搬用のキャスターで自宅まで5km ゴロゴロ転がして運びました。

今のところ、パソコンや携帯の充電などに利用しています。

私は縁日や子ども相手のイベントに出店することが多いので、照明器具として使う予定です。毎年おこなっているキャンプでも活用し、ささやかな環境・エネルギー教育をやりようかなと考えているところです。経済収支から見ると黒字にするのは無理ですが、教育の場での活用で、エネルギー浪費をなくす取り組みの一助になればと思っています。

私が市民発電をやっていると知った友人が市営住宅の集会場に設置したいと早速連絡があり、当日頂いたファイルを貸しました。これからどんどんひろげていきたいものです。

理事 町井 弘明



■自己紹介コーナー■ No.15

今月号は、発電所のほかで！あちらこちらとお忙しい川口洋一さんの自己紹介です。



若い頃は半導体の表面の研究をしていました。それが今、半導体を応用した太陽電池を使って電気をつくる、原発ゼロ市民共同かわさき発電所につながっている、というのはこじつけにすぎるでしょう。

50代になってパラグライダーに手を染めました。一人で飛べるパイロットになるためには、スクールに入って講習を受けなければなりません。若い人はすぐに上手になりますが、私はなかなか上達いたしません。同じように斜面で悪戦苦闘している50代の男がいるじゃないですか。進むテンポが同じなのですっかり仲良くなってしまいました。二人とも今では飛ぶことはしませんが、年に数回飲みに行っています。

60才も近くなって京劇の銅鑼にはまりました。大銅鑼、小銅鑼、鑊鈸（シンバル）、単皮鼓（指揮者が撥でたたく小さな太鼓）の4つの打楽器で編成するアンサンブルです。4人の息が合うと気持ちがいいものです。2年ごとに京劇を習っている日本人のグループと合同で発表会を開いてきました。このところ少し遠のいていますが、いつ声がかかっても大丈夫なように月2回の練習を続けています。

70才の定年を機会に、四国遍路の旅に出ました。と言っても本格的な装束を身につけているわけではなくて、南無大師遍照金剛と書いた杖一本の遍路です。始めたのが弘法大師の生誕の地として知られる善通寺市にある、76番善通寺からです。3年かかって30番善楽寺までできました。毎週月曜日に「ぐらす・かわさき」の寺子屋で中学生の数学を見ているので長い休みが取れないのです。苦肉の策で一昨年伊方原発の現地集会に参加した時、49番浄土寺から55番南光坊までを歩いてきました。今年はどうも行けそうにもありません。アベ政治のせいです。原発再稼働反対、秘密保護法廃止、戦争法廃止などと世の中を大きく悪い方に変えていく動きを止めるためです。さらには日本国憲法の原則が貫かれた政治を取り戻すためです。

理事 川口 洋一

【編集後記】

11月13日夜（日本時間14日早朝）、フランス・パリで発生した同時多発テロ事件。過激派組織『イスラム国』（IS）が犯行声明を発表したという。死者129人と報じられ、911以来の悪夢となった。集団的自衛権を行使すれば、日本もテロの脅威にさらされるリスクを背負う。暴力によっては何も解決できないのに。（加藤伸子）

■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090-7948-6189（川岸）

